

5. 第16回ITSシンポジウム2018プログラム



第16回ITSシンポジウム2018

人・社会の活動を支えるITS
～モビリティサービスによる社会の変革

2018年12月13日(木)～14日(金)
同志社大学 今出川校地 室町キャンパス 寒梅館

Final
Program



主催 同志社大学 / 特定非営利活動法人ITS Japan

共催 同志社大学モビリティ研究センター / 同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター

協賛 (公社)計測自動制御学会, (一社)交通工学研究会, (公社)自動車技術会, (一社)情報処理学会, (一社)人工知能学会,
(一社)電気学会, (一社)電子情報通信学会, (公社)土木学会, (一社)日本機械学会, 日本交通心理学会,
(一社)日本ロボット学会, 自動車技術会ITS部門委員会,
情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会,
情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会,
情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会ITS技術委員会, 電子情報通信学会ITS研究会

実行委員長 松岡 敬 同志社大学 学長

プログラム委員長 佐藤 健哉 同志社大学大学院理工学研究科 教授 / 同・モビリティ研究センター長

三好 博昭 同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授 / 同・技術・企業・国際競争力研究センター長

12月13日(木)

9:30 開場

10:00-10:15 開会式

ハーディーホール

実行委員長挨拶 松岡 敬 同志社大学 学長

主催者挨拶 天野 肇 特定非営利活動法人ITS Japan 専務理事

10:15-11:00 基調講演

ハーディーホール

「モビリティサービスによる社会変革」

鈴木 裕人 アーサー・デイリトルジャパン パートナー

現在、自動車産業は100年に1度の大変革期にある。世界の自動車産業は今後、どのように進化するのか。進化のけん引役になるのは、「自動運転」と「次世代型モビリティサービス」である。将来の無人運転を視野に入れた自動運転技術と、カーシェアリングやライドシェアリングなどの次世代型モビリティサービスが融合することで、自動車産業の姿は大きく変わりうる。

本講演では、既存の公共交通サービスの抱える課題を踏まえて、自動運転技術と次世代モビリティサービスに焦点を当て、各国における前提条件をできる限り多面的に考察し、その違いを踏まえた形で、それらの普及シナリオの描出と既存産業へのインパクトを評価する。

11:00-11:10 休憩

11:10-13:00 対話セッション1

ハーディーホール

ポスター発表には講演番号により各30分のコアタイム(発表者が必須で発表する時間帯)を設けます。番号が奇数のポスターは前半に、偶数のポスターは後半に発表されます。

	時間	コアタイム	会場
概要紹介	11:10-11:30		ハーディーホール
ポスター発表	11:30-12:00	奇数番のポスター	ポスターセッション会場 (会議室 地A)
	12:00-12:30	偶数番のポスター	
公開討議	12:30-13:00		

1-A. 交通管理

会議室 地 A

モデレーター：塩見 康博 立命館大学 理工学部環境都市工学科交通マネジメント工学研究室 准教授
 松本 洋 住友電気工業株式会社 情報ネットワーク研究開発センターモビリティシステム研究部
 交通システムグループ長

- 1-A-01 「旅行時間最小化を目指した最適合流制御に関するシミュレーション分析」
 ○田代むつみ(名古屋大学), 本山裕貴(日立製作所), 市岡佑樹, 三輪富生, 森川高行(名古屋大学)
- 1-A-02 「中心市街地活性化と公共交通の利用促進に向けたポイントシステムの有効性評価」
 ○岩本武範(静岡鉄道), 中村俊之(名古屋大学), 松本浩和(計量計画研究所), 宇野伸宏(京都大学)
- 1-A-03 「DynamicMap 2.0: クラウド・エッジ・組込みシステムを活用した交通データ管理基盤」
 ○渡辺陽介(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学), 高田広章(名古屋大学)
- 1-A-04 「ETC2.0プローブデータを活用した車両運行管理支援サービスの有効性の検証」
 ○牧佑奈, 大嶋一範, 今村知人, 池田裕二(国土技術政策総合研究所)
- 1-A-05 「未知道路に対するEVの消費電力量推定システムの構築」
 磯部康太, 有長拓海, 植村智明, 齊藤祐亮, 富井尚志(横浜国立大学)
- 1-A-06 「IoTを活用した表示システムについて」
 ○山本浩二, 濱本 怜平, 若林一樹(ハイウェイ・ツール・システム)
- 1-A-07 「高速道路の施設設備における故障監視システムと現地保守データを連携した故障復旧の迅速化に向けた支援システムの導入について」
 ○山田丈裕, 新宅昭文(中日本高速道路), 油原稔(AMECコンサルタンツ)
- 1-A-08 「自動運転技術とボトルネック渋滞」
 ○片岡孝夫(早稲田大学)
- 1-A-09 「分散型観光地の情報収集と情報配信に関する研究」
 ○奥井雄大(茨城大学), 赤津典生(茨城県立産業技術短期大学), 荒川真, 米倉達広(茨城大学)
- 1-A-10 「首都高速道路網における混雑空間分布の分類」
 ○森田智美, 和田健太郎, 大口敬(東京大学)
- 1-A-11 「自動運転車両を含めた高速道路の運用施策の事前評価のための仮想交通実験環境の要件にかかる研究」
 ○坂井康一, 小野晋太郎, 杉町敏之, 貝塚勉, 鈴木美緒, 平沢隆之, 大口敬, 須田義大, 中野公彦,
 大石岳史(東京大学)
- 1-A-12 「ヒヤリハットデータの自転車行動分類手法と分類別の特徴」
 ○菊地幸太, 御室哲志(秋田県立大学)
- 1-A-13 「災害時のリアルタイムモニタリング・アラートシステムの実証的検証」
 ○川崎洋輔, 桑原雅夫, 梅田祥吾(東北大学), 堀口良太, 小宮粹史(アイ・トランスポート・ラボ),
 永井慎一(本田技研工業), 大畑長(オリエンタルコンサルタンツ), 浦山利博(アジア航測),
 戸高弘統, 須藤哲寛(日本気象協会)

1-B. 運転行動

会議室 地 A

モデレーター：多田 昌裕 近畿大学 理工学部情報学科 准教授
 石倉 理有 株式会社堀場製作所 開発本部開発企画センター産学官連携推進室 Industry Relation チーム
 マネジャー

- 1-B-01 「自動運転レベル3における運転権限のスムーズかつ安全な移譲を促進するHMIの設計」
 春日伸予, ○田中敦也, 宮岡航平, 石川竜朗(芝浦工業大学)
- 1-B-02 「視聴覚的な衝突警報の切迫感が操舵の反応時間と精度に与える影響」
 ○貝塚勉, 中野公彦(東京大学)
- 1-B-03 「高齢ドライバの運転不安状況と運転行動に関する検討」
 ○高橋千紗, 入部百合絵, 河中治樹, 小栗宏次(愛知県立大学)
- 1-B-04 「ドライバーの挙動に基づく自動運転車線変更モデルの基礎的研究」
 ○藤枝隼一, 小木津武樹(群馬大学)
- 1-B-05 「自動運転における車内状況認識システムに関する基礎的研究」
 ○田畑凌, 小木津武樹(群馬大学)
- 1-B-06 「自律走行車両のリスクポテンシャル法を用いた制御目標生成におけるリスク階層化とポテンシャル推定に関する一考察」
 ○山口昌志, 北澤章平, 金子哲也(大阪産業大学)
- 1-B-07 「自動運転想定下における認知負荷の影響」
 ○中村貴広(高知工科大学), 片山健人(トヨタコミュニケーションシステム), 繁樹博昭, 朴啓彰(高知工科大学)

- 1-B-08 「安全運転管理教育システムASSISTにおける先急ぎの非効率性の教育についての機能の改良」
関屋優大, ○合志和晃, 林政喜, 隅田康明(九州産業大学), 松永勝也(九州大学)
- 1-B-09 「ペダル踏み間違い事故防止のための左足ブレーキ操作の効果検証」
○隅田康明, 初遊友, 合志和晃, 林政喜(九州産業大学), 松永勝也(九州大学)
- 1-B-10 「LiDARによる人物観測モデルの構築に関する基礎的研究」
○橋本大樹, 小木津武樹(群馬大学)
- 1-B-11 「権限移譲後におけるヘッドアップディスプレイ画像の焦点距離別と立体音響の効果」
○黄黎, 貝塚勉, 楊波(東京大学), 永田英記, 浜田鉄平, 根上卓也(パイオニア), 川原禎弘(ジェイテクト), 中野公彦(東京大学)
- 1-B-12 「ドライビングシミュレータを用いたドライバのハザード知覚能力の向上」
○鳥居耕太, 河中治樹, 小栗宏次(愛知県立大学)
- 1-B-13 「高速道路休憩所の駐車場誘導システムによる認知と判断の改善」
○山本浩司, 山本隆(中日本高速道路), 田中伸治(横浜国立大学), 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:50 対話セッション2

ハーディーホール

ポスター発表には講演番号により各30分のコアタイム(発表者が必須で発表する時間帯)を設けます。番号が奇数のポスターは前半に、偶数のポスターは後半に発表されます。

	時間	コアタイム	会場
概要紹介	14:00-14:20		ハーディーホール
ポスター発表	14:20-14:50	奇数番のポスター	ポスターセッション会場 (会議室 地 A)
	14:50-15:20	偶数番のポスター	
公開討議	15:20-15:50		

2-A. 情報収集・分析

会議室 地 A

モデレータ: 渡邊 陽介 名古屋大学 未来社会創造機構 ダイナミックマップユニット 特任准教授
佐藤 尚良 オムロンソーシアルソリューションズ株式会社 社会ソリューション事業本部道路事業統括部
システムエンジニア専門職

- 2-A-01 「プローブデータによる大規模災害時の交通障害検出手法の構築」
○吉田政範, 熊倉大起, 梅田祥吾, 川崎洋輔, 桑原雅夫(東北大学), 飯星明(本田技研工業)
- 2-A-02 「ETC2.0プローブデータの拡充に関する調査研究 ～プローブデータの拡充と情報提供の用途拡大について～」
○半田悟, 千田浩一, 高橋勝則, 三好孝明(道路新産業開発機構)
- 2-A-03 「車両運行管理支援のためのETC2.0特定プローブデータ配信について」
○三好孝明, 半田悟, 千田浩一(道路新産業開発機構)
- 2-A-04 「小型衛星とプローブカーを組み合わせた広域交通状態推定手法」
○瀬尾亨, 日下部貴彦(東京大学)
- 2-A-05 「道路管理に活用できる車両搭載センシング技術の検証」
○大竹岳, 大嶋一範, 澤井聡志, 池田裕二(国土技術政策総合研究所)
- 2-A-06 「プローブデータを活用した首都高速道路上における危険挙動発生箇所分析」
○岩崎聖(首都高速道路), 小山周一(首都高技術), 田名部淳, 前川友宏(地域未来研究所)
- 2-A-07 「クラウド、エッジ、車両の協調型ネットワークのアーキテクチャの提案」
○横晶彦, 渡辺陽介, 高田広章(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学)
- 2-A-08 「ETC2.0プローブ情報を活用した観光交通における渋滞対策の効果検証」
○林泰士, 松田奈緒子, 瀧本真理, 坂ノ上有紀, 中田寛臣, 瀬戸下伸介(国土技術政策総合研究所)
- 2-A-09 「ネットワーク構造の集約による大規模プローブデータの縮約手法」
○安田昌平, 坂井勝哉, 井料隆雅(神戸大学)
- 2-A-10 「ETC2.0プローブデータの量的代表性に関する分析」
○後藤祥, 小木曾俊夫, 牧佑奈, 池田裕二(国土技術政策総合研究所)
- 2-A-11 「プローブ情報を用いた動的経路決定に対する虚偽情報混入に関する影響評価」
○長谷川慶太, 原田貴史, 弾雄一郎, 鷺尾知暁(NTTセキュアプラットフォーム研究所)
- 2-A-12 「プローブ情報を用いた合流調停における虚偽情報混入に関する影響評価」

- 原田貴史, 長谷川慶太, 彈雄一郎, 鷺尾知暁(NTTセキュアプラットフォーム研究所)
 2-A-13 「ETC2.0 プローブ情報を用いた車両挙動の分析」
 ○加藤紀彦, 平沢隆之, 坂井康一, 須田義大(東京大学)

2-B. ドライバ状態

会議室 地 A

- モデレータ: 金子 哲也 大阪産業大学 工学部交通機械工学科 准教授
 大見 拓寛 株式会社デンソー コックピット技術2部 担当次長
- 2-B-01 「生体磁気刺激を用いたドライバ覚醒手法における効果残存時間に関する検証」
 ○林由英, 塚田将司, 国保泰久, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業科学研究所)
- 2-B-02 「超低周波微小交流磁界刺激を用いたドライバ覚醒効果の磁界周波数依存性に関する検証」
 ○日比敦士, 塚田将司, 国保泰久, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業科学研究所)
- 2-B-03 「高速道路走行時のドライバー生体反応データの基礎分析」
 ○金森亮, Tandi, Alfred, 山本俊行, 森川高行(名古屋大学)
- 2-B-04 「画像処理型センサを用いたドライバーの運転特性分析の試み」
 ○廣嶋衛大, 西田将之(近畿大学), 岡部浩史, 塚本哲也, 佐藤尚良(オムロンソーシアルソリューションズ), 田崎博(オムロン), 多田昌裕(近畿大学)
- 2-B-05 「マインドフルな運転のためのfNIRSによる自動車運転中の脳活動状態の分析」
 ○藤原侑亮, 日和悟, 佐藤健哉, 廣安知之(同志社大学)
- 2-B-06 「運転者の視線追跡に基づく運転支援エージェントの発話とモーションの評価」
 浜中志奈子, ○向直人(椋山女学園大学), 藤掛和広, 田中貴紘, 金森等(名古屋大学)
- 2-B-07 「健常中高年ドライバーにおける大脳白質病変の経時的変化量と交通事故の関係」
 ○大田学(高知工科大学), 山下典生(岩手医科大学), 朴啓彰(高知工科大学)
- 2-B-08 「軽度認知障害を認める高齢ドライバーに対する認知リハビリテーション効果のドライビングシミュレータ検証」
 ○鎌倉航平, 沖田学, 佐藤誠, 沖田かおる(愛宕病院), 小野浩(本田技研工業), 朴啓彰(高知工科大学)
- 2-B-09 「自動操縦車両構築の観点から見たシステムの安全性に関する研究」
 ○春山佑輔, 景山一郎(日本大学)
- 2-B-10 「軽度認知障害の高齢運転者のための自動車運転(リハビリテーション)外来の役割と展望」
 ○沖田学, 鎌倉航平, 佐藤誠, 沖田かおる(愛宕病院), 小野浩(本田技研工業), 朴啓彰(高知工科大学)
- 2-B-11 「自動運転車における眼球型車外コミュニケーションユニットの開発」
 ○田川慶樹, 大前学(慶應義塾大学)

15:50-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション1「AIと倫理」の議論はなぜ噛み合わないのか?

ハーディーホール

自動運転の進展が社会に及ぼす影響を考える上で、「AIのなす判断の倫理性をどう考えるか?」といった議論は避けて通れない問題である。そして、このようなAIの判断に関する倫理の問題については、様々な立場から多様な議論があるが、しかし、それらの多くは「平行線」で「噛み合っていない」ものが多い。一体なぜこのような倫理の議論は、すれ違うことが多いのだろうか。

その理由としては、議論のスタート地点(前提条件)の違いや立場の違い、前提知識の違いなど様々なものが考えられるが、本セッションでは、技術者・法学者・哲学者など多様なパネリストとともに、そのすれ違いの理由を紐解いていくことで、AIと倫理の問題の突破口を探ることを目的とする。

- モデレータ: 田口 聡志 同志社大学 商学部 教授
 パネリスト: 江間 有沙 東京大学 政策ビジョン研究センター 特任講師
 曾我部 完 株式会社グリッド 代表取締役
 林 秀弥 名古屋大学大学院 法学研究科 教授

18:00- バンケット

ホテル 京都ガーデンパレス 大宴会場「葵」
 京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605 (Tel 075-411-0111) …寒梅館より徒歩 10分…

12月14日(金)

9:00 開場

9:30-11:00 企画セッション2 自動運転がもたらす社会の変革

ハーディーホール

自動運転のもたらす社会へのインパクトについては、交通事故の削減、ドライバー不足への対応、モビリティのサービス化(Mobility as a Service)といったように、モビリティ領域での直接的な影響が議論される場合が多い。しかし、自動運転は、こうしたモビリティの変化を通じて、人々の生活のスタイルや都市の構造等にも、間接的に大きな影響を及ぼすものと考えられる。また、自動運転車の生産や稼働に必要なモジュールや情報サービスが、これまでの自動車とは異なる多様な主体から提供される可能性を踏まえると、自動運転は、自動車産業等の産業組織やビジネスエコシステム、さらには、日本の産業構造にも大きなインパクトを与えることになるだろう。このセッションでは、自動運転技術の普及がもたらすこうした社会の変革を議論する。

- モデレータ： 三好 博昭 同志社大学 政策学部 教授 / 技術・企業・国際競争力研究センター長
 パネリスト： 糸久 正人 法政大学 社会学部 准教授
 岩本 晃一 経済産業研究所 / 日本生産性本部 上席研究員
 紀伊 雅敦 香川大学 創造工学部 教授
 坂井 康一 東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授

11:00-11:10 休憩

11:10-13:00 対話セッション3

ハーディーホール

ポスター発表には講演番号により各30分のコアタイム(発表者が必須で発表する時間帯)を設けます。番号が奇数のポスターは前半に、偶数のポスターは後半に発表されます。

	時間	コアタイム	会場
概要紹介	11:10-11:30		ハーディーホール
ポスター発表	11:30-12:00	奇数番のポスター	ポスターセッション会場 (会議室 地 A)
	12:00-12:30	偶数番のポスター	
公開討議	12:30-13:00		

3-A. 交通流

会議室 地 A

- モデレータ： 倉内 文孝 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
 岩岡 浩一郎 パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 ITS推進部システム1課 主事

- 3-A-01 「広域都市圏を対象とした異常な交通流動パターンの検出手法：
交通流の連続体モデルによるテンソル解析からのアプローチ」
○リコフ・スタニスラフ, 朝倉康夫(東京工業大学)
- 3-A-02 「ガウス過程を用いた移動軌跡に基づくメッシュ類似度の把握と可視化」
○中西航(東京工業大学)
- 3-A-03 「プローブデータによる豪雨災害時における面的な交通影響の分析」
○熊倉大起, 吉田政範, 梅田祥吾, 川崎洋輔, 桑原雅夫(東北大学), 飯星明(本田技研工業)
- 3-A-04 「経路・出発時刻同時選択を内生化した動的利用者均衡配分の効率的アルゴリズム」
○河向隆志, 赤松隆(東北大学)
- 3-A-05 キャンセル
- 3-A-06 「路面電車のナビゲータが提案する運輸・情報通信・エネルギーの統合型インフラSTING」
○森田均(長崎県立大学), 松坂勲, 山口泰生(長崎電気軌道)
- 3-A-07 「交通円滑化施策の効果把握に関するWi-Fiパケットセンサーの適用可能性の検証」
○笹圭樹, 絹田裕一, 和泉範之, 廣川和希, 杉田溪, 牧村和彦, 鈴木紀一(計量計画研究所), 西田純二(社会システム総合研究所)
- 3-A-08 「富山県全域におけるバスロケーションシステムのプロトタイプの有効性に関する考察」
○夏野健, 高野詩菜, 小川祐太, 堀田裕弘(富山大学), 菊池宗史, 田淵浩之(VISH)
- 3-A-09 「対向観測車両データを用いた突発事象時にも対応できる交通流モニタリング」
○岸田遼, 竹之内篤(東北大学), 河合克哉(三菱電機), 桑原雅夫(東北大学)

- 3-A-10 「ETC2.0と高精度高解像度データをマッチングした交通障害検知に関する検討」
○吉田真純(日本気象協会), 江田重之(日本道路交通情報センター),
丹治和博, 須藤哲寛, 野村茂行(日本気象協会), 武智彩(日本道路交通情報センター)
- 3-A-11 「対向観測プローブによる交通流モニタリング - 車載カメラを用いた車両認識精度の検証」
○河合克哉(三菱電機), 竹之内篤(東北大学), 伊川雅彦(三菱電機), 桑原雅夫(東北大学)
- 3-A-12 「学習データが少ない事象をドライブレコーダーから自動検出するための深層学習手法
～冠水を対象としたGANによるData Augmentationアプローチ～」
○中村奨(九州大学), 小野晋太郎(東京大学), 川崎洋(九州大学)
- 3-A-13 「実測した全車両軌跡データの仮想検証への適用に向けた検討」
○兒玉崇, 石原雅晃(阪神高速道路), 鈴木健太郎(阪神高速技研),
眞貝憲史, 中西雅一, 田名部淳(地域未来研究所), 新田純子, 高田寿久(フォーラムエイト),
中條覚, 鯉淵正裕(三菱総合研究所)

3-B. センシング・制御

会議室 地 A

モデレータ: 橋本 雅文 同志社大学 理工学部インテリジェント情報工学科 教授
尾崎 信之 東芝インフラシステムズ株式会社 技術アドバイザー

- 3-B-01 「衝突予測による不安感軽減のための車椅子ロボットの速度制御」
○澤邊太志, 神原誠之(奈良先端科学技術大学院大学), 浮田宗伯(豊田工業大学),
Yoichi Morales(名古屋大学), 池田徹志(広島市立大学), 渡辺敦志(SEQSENSE),
萩田紀博(国際電気通信基礎技術研究所)
- 3-B-02 「自動運転に向けた合流時の車線変更に関する運転方法の検討」
○米川輝, 小原清弘(日立製作所), 伊藤浩朗(日立オートモティブシステムズ)
- 3-B-03 「車両運転データからの自動運転ロジック導出の検討」
○小原清弘, 米川輝(日立製作所), 伊藤浩朗(日立オートモティブシステムズ)
- 3-B-04 「走行環境画像情報とGNSS測位推定誤差との関係性評価手法の基礎的研究(第2報)」
○田部陽大, 小木津武樹(群馬大学)
- 3-B-05 「自動運転車におけるエネルギー供給自動化のための基礎的研究」
○小嶋証基, 小木津武樹(群馬大学)
- 3-B-06 「自動運転の遠隔地対応のための遠隔操縦プラットフォームの基礎的研究」
○大竹一輝, 小木津武樹(群馬大学)
- 3-B-07 「シェアードコントロールシステムの正着性能と受容性に関する研究」
○郭鐘聲, 蔡鶴璟(東京大学), 杉町敏之(東京都市大学), 須田義大(東京大学),
岡田光太郎, 川原禎弘(ジェイテクト)
- 3-B-08 「準天頂衛星システムのサブメータ級測位補強サービス(SLAS)とDead Reckoningを組み合わせた
GNSS受信機の測位精度評価」
○高山洋史, 加藤隆志, 大杉明弘(古野電気)
- 3-B-09 「吹雪・悪視界下での曲線路予告情報を用いたUHF帯RFIDによる車両誘導」
○菊野亮人, 山口純, 多田尚斗(北見工業大学), 萩原康介(日本電技),
川村武, 岸本恭隆, 柏達也(北見工業大学)
- 3-B-10 「音声指令に対応した自動運転車の走行制御に関する研究」
○日垣博考(慶應義塾大学), 塚原裕史(デンソーアイティラボラトリ), 大前学(慶應義塾大学)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:50 対話セッション4

ハーディーホール

ポスター発表には講演番号により各30分のコアタイム(発表者が必須で発表する時間帯)を設けます。番号が奇数のポスターは前半に、偶数のポスターは後半に発表されます。

	時間	コアタイム	会場
概要紹介	14:00-14:20		ハーディーホール
ポスター発表	14:20-14:50	奇数番のポスター	ポスターセッション会場 (会議室 地 A)
	14:50-15:20	偶数番のポスター	
公開討議	15:20-15:50		

4-A. 移動サービス

会議室 地 A

モデレータ： 梅津 高朗 賀大学 データサイエンス学部 准教授
田名部 淳 株式会社地域未来研究所 交通情報研究室 室長 / システム開発室 室長

- 4-A-01 「バス専用レーンを考慮した出発時刻選択モデルにおけるバス容量の影響分析」
○嶋本寛(宮崎大学)
- 4-A-02 「自動運転の社会的受容と利用意図の規定因は？ ベネフィット, リスク認知, それとも経験？
-日本のメタ分析より」
○西堀泰英(豊田都市交通研究所), 木村航太, 谷口綾子(筑波大学), 森川高行(名古屋大学)
- 4-A-03 「不完全な交通データによる経路移動時間の推定」
○嶋龍一, 大和田聖, 内田賢悦(北海道大学)
- 4-A-04 「実世界混雑解析に基づく行動推薦システム」
○中山経太, 尾ノ上晃, 堀磨伊也, 島田敬士, 谷口倫一郎(九州大学)
- 4-A-05 「移動時間の不安定なバス停間の移動時間予測」
○マンスール・アス, 峯恒憲, 山口翼(九州大学)
- 4-A-06 「高速バスの自動運転・隊列走行の社会実装に向けた考察」
○林世彬, ○須田義大(東京大学), 横溝英明, 小宮浩資, 平山幸司(Willer)
- 4-A-07 「通行料金・経路検索システムの応用と将来展望」
○寺山尚孝, 中野学, 濱田健次, 北直朗(ハイウェイ・トール・システム)
- 4-A-08 「災害復旧期における情報と需要の不確実性を考慮した最適在庫配送計画」
○河瀬理貴, 浦田淳司, 井料隆雅(神戸大学)
- 4-A-09 「Shared Mobility Service市場の効率を向上させる新しい渋滞制御スキーム」
○桂航, 赤松隆(東北大学)
- 4-A-10 「自動運転とシェアリングが融合した新たなモビリティとその社会」
○溝上章志(熊本大学), 古澤悠吾(パシフィックコンサルタンツ), 八戸龍馬(熊本大学)
- 4-A-11 「バスロケーションシステムにおける各種表示内容の有用性に関する考察」
○小川佑太, 高野詩菜, 夏野健, 堀田裕弘(富山大学)
- 4-A-12 「カーシェアリングシステムの最適ステーション配置の比較分析」
○山本真生, 上野優太, 溝上章志(熊本大学)
- 4-A-13 「高度化PTPSの機能に関する考察 - 高度化PTPS車載機の機能検証を通じて -」
今川高嶺, 大島大輔, ○光安皓(パシフィックコンサルタンツ)

4-B. 走行環境

会議室 地 A

モデレータ： 中野 公彦 東京大学 大学院情報学環 / 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授
川井 明 滋賀大学 データサイエンス学部 准教授

- 4-B-01 「白線認識による画角補償機能を利用した時速100km対応トンネル覆工表面画像検査システム」
○早川智彦, 望戸雄史(東京大学), 森下健太(中日本高速道路), 石川正俊(東京大学)
- 4-B-02 「ながら歩行における周囲の認識能力低下とその抑止に関する検討」
○村山貴彦, 伊藤正都, 濱野雅幸, 山崎初夫, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)
- 4-B-03 「車載単眼カメラを用いた自車両方位変化推定手法の高精度化」
○部谷純樹, 塚元康輔(茨城大学)
- 4-B-04 「出会い頭事故防止に向けた交差点環境の分析」
○佐藤潤弥, 廣田正樹, 野村拓未(九州大学)
- 4-B-05 「車両進行経路予測に基づいた路面摩擦判別」
○金田優希, 金天海(岩手大学)
- 4-B-06 「ESTRAプローブデータを用いた災害発生時等の物流車両の影響分析」
○田中準二, 望月克哲(矢崎エナジーシステム),
澤部純浩, 松本章宏, 元木賢一, 神野大輝, 芳村俊幸, 寺岸康介(長大)
- 4-B-07 「リンクトランスミッションモデルによる都市街路の交差点優先順位管理」
○湯若天, 金森亮, 山本俊行(名古屋大学)
- 4-B-08 「自動運転の為のETC2.0プローブデータを用いた先読み情報の検出に関する研究」
○榊真, 大嶋一範, 岩里泰幸, 澤井聡志(国土技術政策総合研究所), 小山田哲郎(長大),
池田裕二(国土技術政策総合研究所)

- 4-B-09 「地上雨量計および気象レーダによる降雪観測値に対する補正方法の検討」
○大宮哲, 國分徹哉, 松下拓樹, 高橋丞二, 松澤勝(土木研究所 寒地土木研究所)
- 4-B-10 「首都高速道路における検知システムを用いた誤進入の実態分析」
○相馬嵐史, 田畑大(首都高速道路), 田中淳, 金子太朗(オリエンタルコンサルタンツ)
- 4-B-11 「豪雨災害時における道路交通情報の利用状況」
○渡辺柚佳子, 杉田正俊(日本道路交通情報センター)
- 4-B-12 「空間電位変動を利用した歩行検知の研究」
○河野賢司, 菅瞭介, 須田義大(東京大学), 須藤裕之(トヨタ自動車)
- 4-B-13 「積雪道路における自己位置推定システムの開発」
○谷口直也, 御室哲志(秋田県立大学), 高梨宏之(日本大学)

15:50-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション3 Mobility as a Serviceで描く都市交通

ハーディーホール

Mobility as a Serviceは、我が国の交通サービスに革命をもたらすだろうか。世界的な観光都市京都を題材に、Mobility as a Serviceによる未来の都市交通への期待とその実現にあたっての課題について議論する。

- モデレータ: 土井 勉 大阪大学COデザインセンター 特任教授/一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長
- パネリスト: 藤垣 洋平 日本学術振興会 特別研究員(東京大学大学院工学系研究科)
木津 雅文 トヨタ自動車株式会社 MaaS事業部 担当部長
大久保 園明 京阪バス株式会社 ICT推進部
鈴木 章一郎 京都市 都市計画局 局長

17:30-17:50 閉会式

ハーディーホール

- 自動運転カーの経済価値に関する経済実験 結果報告 田口 聡志 同志社大学 商学部 教授
- プログラム委員長総評 佐藤 健哉 同志社大学大学院理工学研究科 教授
- ベストポスター賞授与

大会委員会

実行委員長:

松岡 敬 同志社大学 学長

プログラム委員長:

佐藤 健哉 同志社大学大学院理工学研究科 教授 / 同・モビリティ研究センター長

三好 博昭 同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授 / 同・技術・企業・国際競争力研究センター長

プログラム委員会:

岩岡 浩一郎(パナソニック), 梅津 高朗(滋賀大学), 金子 哲也(大阪産業大学), 倉内 文孝(岐阜大学),

佐藤 尚良(オムロン), 塩見 康博(立命館大学), 高木 聡一郎(国際大学), 高田 広章(名古屋大学),

田口 聡志(同志社大学), 多田 昌裕(近畿大学), 田名部 淳(株式会社地域未来研究所),

中野 公彦(東京大学), 中東 正文(名古屋大学), 橋本 雅文(同志社大学), 本田 康二郎(金沢医科大学),

松本 洋(住友電気工業), 渡邊 陽介(名古屋大学)

参加登録

- 参加登録料 論文発表者 一般15,000円 / 学生8,000円(いずれも論文投稿料を含みます)
- 聴講 一般会員15,000円 / 一般非会員20,000円 / 学生3,000円……11月30日まで
一般会員18,000円 / 一般非会員23,000円 / 学生3,000円……12月1日より



特定非営利活動法人 ITS Japan
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館ビル TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755 / <http://www.its-jp.org>